

南アフリカ為替週報

2023年9月7日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<過去1週間の動き>

(8月31日～9月6日)

USD/ZAR: 18.6228～19.3368

ZAR/JPY: 7.62～7.84(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドル18.5台から19.2台まで約4%弱下落。過去1週間に発表された2023年4～6月期の実質GDP成長率や、7月分の貿易収支といった経済指標は南ア経済・金融市場にとってポジティブ・サプライズと言える結果であり実際に指標発表直後にはややランド高にふれる動きも見られたが、中国景気懸念、米金利上昇・ドル高といった外部環境の逆風のほうが勝っている形だ。ランドが対ユーロ、対円でも下げていることを考慮すれば、中国景気への懸念が要因としてより強いようにも見受けられる。

9月5日に公表された2023年4～6月期の実質GDP成長率は前年同期比+1.6%と1～3月期の同+0.2%から加速し、市場予想の同+1.2%を上回った。前期比で見ても+0.6%と1～3月期の同+0.4%から加速し、市場予想の同+0.3%を上回っている。4～6月期に南アが度重なる停電に見舞われていたことを考慮すれば、この結果は意外感が強い。実際に、需要項目別GDPの約6割を占める個人消費に関して言えば、前期比▲0.25%と落ち込んでいる。業種別GDPでも建設の前期比▲0.4%や運輸の同▲1.9%など、落ち込んでいる業種も多い。それにも関わらずGDPの結果が全体として強かったのは、製造業(前期比+2.2%)、鉱業(同+1.3%)といった業種が堅調だったことに起因している。GDP統計だけでは、相次ぐ停電にも関わらずなぜこうした業種が強いのかは伺い知ることは難しく、想像に委ねるしかないが、自家用発電の整備などなんらかの対策が打たれている可能性があるだろう。なお、GDP統計の4日前に発表された8月分の製造業PMIも49.7と節目の50は依然として下回っているものの、7月分の47.3からは大きく改善し、市場予想の47.6を上回っている。

8月31日に発表された7月分の貿易収支は13億ランドの赤字を見込む市場予想に反して160億ランドの黒字となった。黒字幅の大きさは2022年9月以来となる。自動車・輸送機器の輸出増が最大の寄与となっている。一方、輸入は6月と比較して幅広い項目で減少している。単月の貿易収支を過度に重視するべきではないだろうが、予想を上回る貿易収支の結果はランドにとってはサポート要因である。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
8/31	13:00	貿易収支(10億ランド)	7月	-1.3b	16.0b	-4.7b
9/1	10:00	製造業PMI	8月	47.6	49.7	47.3
9/5	10:30	GDP(前年比%)	Q2	1.2%	1.6%	0.2%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(9月7日～9月13日)

USD/ZAR: 18.80～20.00

ZAR/JPY: 7.10～8.40

今後1週間のランド相場は下落圧力が続く公算が大きい。引き続き、外部環境の動向に敏感な展開が続くだろう。しかし、中国景気の低迷に対する市場の悲観論や、米金利の急騰・ドル高が収まる兆しは今のところ見えない。

経済指標では9月7日に2023年4～6月期の経常収支が、9月11日に7月分の製造業生産が公表されるが、市場への影響は限定的であろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

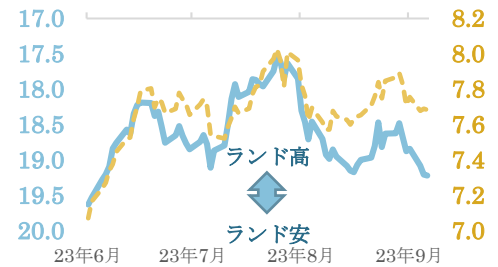
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
9/7	10:00	経常収支(10億ランド)	Q2	-173b		-66b
9/11	12:00	製造業生産(前年比%)	7月			5.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

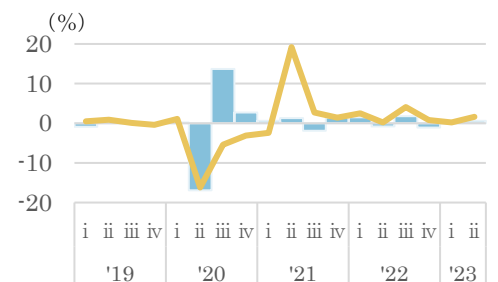
点線: 対円レート(右軸)



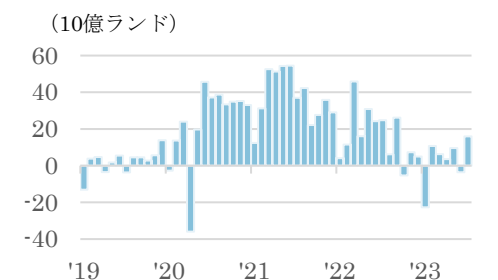
実質GDP成長率

棒グラフ: 前期比

折れ線: 前年同期比



貿易収支



(資料: 南アフリカ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

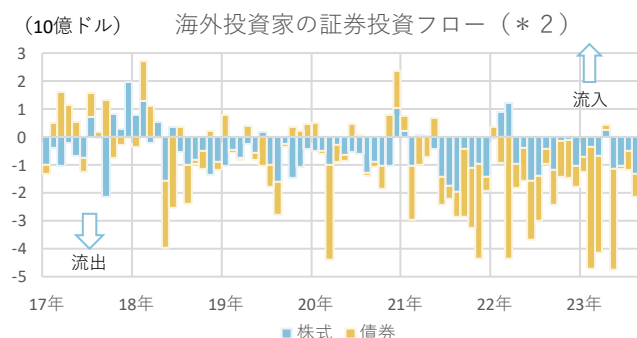
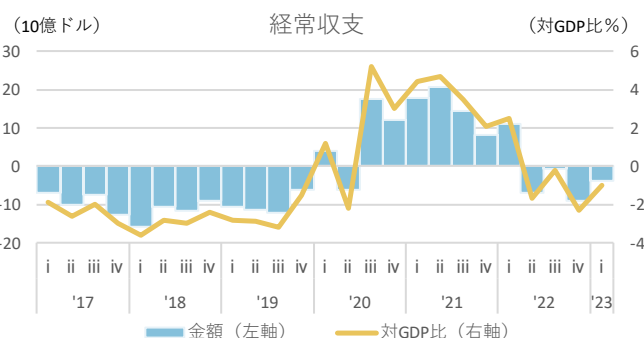
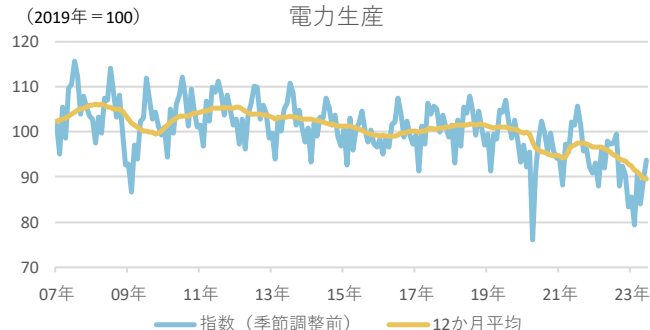
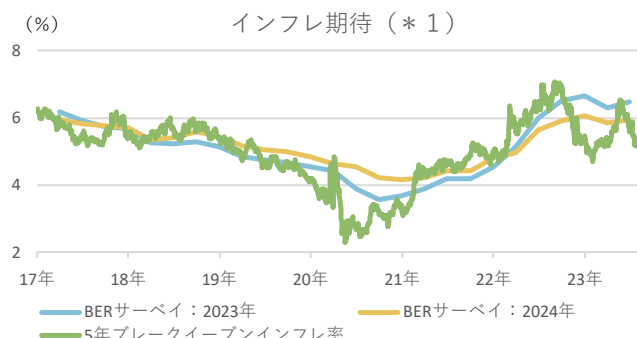
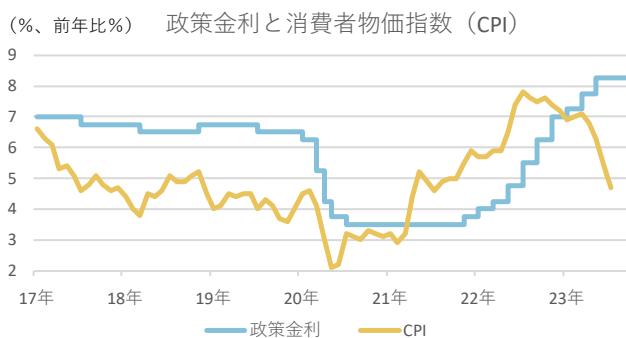
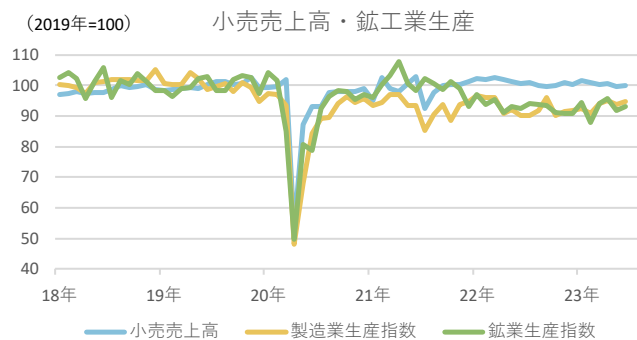
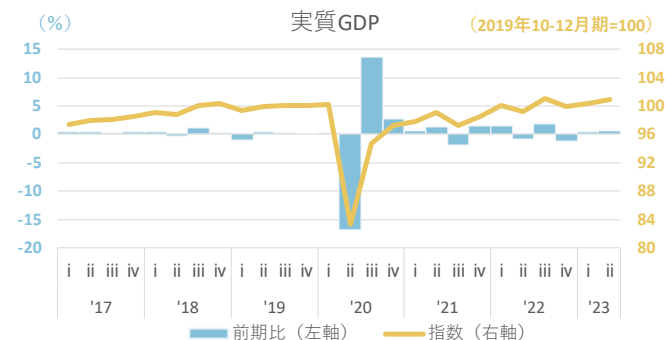
masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

南アフリカ為替週報

2023年9月7日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<主要経済指標の推移>



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年9月は1日から5日までの累計値。

(資料 : 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。